

第2回津山自分ごと化会議 議事メモ

| | |
|------------|---|
| コーディネーター | 伊藤 伸 |
| 説明担当者(自治体) | 財産活用課 定久課長、行財政改革推進室 伊東主幹 |
| 日時 | 令和元年11月23日(土) 13時00分から16時00分 |
| 場所 | 津山市役所 2階大会議室 |
| その他 | 参加委員数 16名 市側出席者 財政部長、総合企画部・財政部・学校教育部・生涯学習部職員 |

趣旨・概要

第1回自分ごと化会議の振り返り
市内のプールの現状の共有
議論

総括

コーディネーター

前回の会議で各委員から多数の意見が出されていたグラスハウスにフォーカスをあわせて議論を実施。年間1億円の維持管理費はかかりすぎるという考えは参加委員同じであり、施設の運営手法について出された意見を分類すると「今の状態で続ける」、「施設を大きく見直して続ける」、「来年度で運営をやめる」、以上3つに集約された。また、施設の活用を考える中で、子どもの遊ぶ場所が少ない、若い人が行きたい場所が少ない等、地域課題も共有された。

全体会の流れ

1 第1回自分ごと化会議の振り返り(構想日本による説明)

2 市内のプールの現状の共有(津山市による説明)

- ・津山市の財政と公共施設の状況
- ・市営4プールの運営状況
- ・市内の民間プール・フィットネスクラブの概況
- ・都市公営プールの運営事例について
- ・市営4プールの撮影動画上映

会議資料訂正の報告：勝北総合スポーツ公園の平成30年度利用者数

誤) 12,805人 正) 12,800人

3 議論 <グラスハウスについて>

委) 他の市営プールを廃止してグラスハウスを残す。夏季限定で市内シャトルバスを運行するなど施設の利用促進と集約の仕方について考えてみても良いのではないかと。

委) ネーミングライツを企業に与え、運営していくのはどうか。また、利用料金を下げることによって、リピーターやファンの増加を促す取組みをしてはどうか。

- 委) グラスハウスは好きだが、利用料金が高くて行けない。
- 市) 指定管理者制度を導入しているため、利用料金は指定管理者で設定している。市は指定管理者に維持管理費(指定管理料)を支払い、指定管理者は不足経費を利用料金と自主事業の収入で充当している。
- 委) グラスハウスを一度も利用したことがないが、施設の機能を知れば行ってみたいと感じた。自分と同じように「知らない」人が市内に多いのではないか。
- 市) 今回の資料で示している利用者数12万4千人の内訳は、8万4千人がプール単独の一般利用数で、残りの4万人がジム・フィットネスとプールの両方を利用できる会員の利用数が計上されたものである。
- 委) グラスハウスを残すのであれば色々な経費を削減しないといけない。例えば、小中学校のプールを廃止して、その削減した経費で1年中使用できるグラスハウスなど屋内温水プールを活用するという考えがあっても良いのではないか。
- 委) 子ども達がある程度泳げるようになっている中学校ではプールがないことも考えられるが、小学校については身近に泳げる環境として学校プールは必要。
- 委) 学校プールの目的は、水難事故から子どもたちを守りその技術を学ばせること。それ以外のプールは市民サービスを目的としており、性質が違う。
- 委) グラスハウスを残して欲しいが、機能面などの施設の内容については見直す必要がある。運営費を見てびっくりした。
- コ) グラスハウスの建物の特殊な構造が影響して、維持管理費が多額に上っているのではないか。
- 委) 施設全面を覆っているガラスを遮光する材質のものに入れ替えるなど、光熱費を抑える方法を探ってはどうか。
- 委) ジャグジーやサウナは必要ない。利用頻度の少ない機能を洗い出し、機能面の集約を行ってはどうか。
- 委) 現在のサウナゾーンを子ども達が楽しめる場所に変えてはどうか。小さな子どもが遊べる場所が少ない。夏場の水遊びは心も養えるため必要。
- 委) プール全体の規模を縮小し、替わりに子ども達が遊べる場所を整備してはどうか。
- 委) 女子中高生が行きたくなるようなイベントや魅力の発信を工夫して若者の理解を増やしていくのはどうか。
- 委) 関係人口を増やすという視点で若者が楽しく過ごせる施設にしていくことを考えてはどうか。

- コ) いつか帰りたくなる、いつでも好きでいられる街・津山を実現するにあたり、ガラスハウスが有効な手段に今後なり得るかどうかポイントになるのではないかと。
- 委) 施設を利用している者とそうでない者との違いが議論の中でも見られる。いずれにしても、民間事業者において、施設の必要性や可能性を判断していただき、その運営を委ねてはどうか。
- 委) グラスハウスを毎年利用しているが、施設の劣化が目につくようになってきた。人口減少が進む中、将来の改修費は大きな負担と考える。地域の宝として残す場合、外観の形状を活かした全天候型のフットサルやラグビー・サッカー場、又は取り壊した後にサッカーグラウンドに整備してはどうか。施設の維持管理費として年間1億円の支出は見直す時期にきている。
- 委) 施設の運営手法を見直し、民間で運営を引き受けるところがあれば、市は手を引くべき。毎年相当額の経費が支払われていることをもっと市民に知ってもらう機会が必要。
- 委) グラスハウスは施設の構造上、光熱水費を減らすことは難しいと思う。廃止もやむを得ない。現在の経費を他の施策に充てる方が良い。
- 委) 他都市のレジャープールの運営事例とガラスハウスを比較することが必要。
- コ) 公営のレジャープールの運営事例について、可能な範囲で次回までに調べたい。本日の会議で各委員から出されたガラスハウスに関する意見を集約すれば、「今の状態で運営を続ける」、「遮光するなど施設を見直して運営」、「運営をやめる」以上3つのいずれかに分類できるのではないかと。次回第3回会議では、プールを研究している専門家をナビゲーターとして招き、議論を深めていきたいと考えている。

グランドハウス (施設管理: シスノ)

来年度までの
契約

毎年行っているところを
委託者が負担する

人気が減っていく中で
維持は難しいのでは

健康増進、学校授業
への利用できない

総社市の
運営フェル

企業への協力

長スホシワニイナ?

学校のフェル授業の目的

水廻り施設を
改修する

使っている人と使っていない人の
差が大きい

その他のフェル授業は?
水廻り

社会教育 (スポーツ施設)

レジャー

新シシワ
今後必要と見られる

レジャー視点に
おいては現金収入は?

利用料 1200~1500円

年間1億
円は必要と見られる

いかに
減らすかを
検討

減らすことも
必要と見られる

下げて
利用者を
増やす

若くは
高齢者が
利用しやすい

インスタ映え

利用料収入は

関係人口

子供が遊ぶ場所が
少ない

他のフェルより
高い
支出 (特に
光熱水費)

少ない

グランドハウスに

子供が遊ぶ施設
は必要と見られる

グランドハウスは
実現のための有効な
手段には
ならない

設備にはある程度
前年度に
加えるか
使えなくなると
使う

近い将来
数千万単位の
修繕が必要

- 今の状態を
運営に移す
- 速くする
施設を
見直し
運営
- 運営をやめる

大会議室

ホワイトボードの写真